

2011夏季一時金要求、2011春闘未解決職場 一覧

2011年6月10日現在

	2011夏季一時金要求内容	2011春闘未解決	
冬夏年間要求	羽咋自校	年間160万円(冬夏とも未解決)	未解決(民事再生中)
	能中自校	年間160万円(冬夏とも未解決)	未解決(回答なし)
	加南加賀自校	年間160万円(冬夏とも未解決)	未解決(回答なし)
	林ベニヤ	年間130万円(夏季分として45%)	妥結済
	門前サンケン	年間5ヶ月(夏季分として2.3ヶ月)	妥結済
	芝寿し	夏季分として総収入の15%	妥結済
	大同テクノ	年間5ヶ月+20万円(賃金格差是正分) (夏季分として2.4ヶ月+10万円) →回答(平均23万円=1.178ヶ月)	回答(平均3,400円)
夏季要求	北陸冷蔵	2.5ヶ月、正社員補充、有休取りやすい環境	妥結済
	市場冷蔵	2.5ヶ月、家族手当増額	妥結済
	魚市冷蔵	2.5ヶ月、備品購入の改善等	妥結済
	丸一石油	2.0ヶ月	妥結済
	北国製紙	2.5ヶ月、組合掲示板設置	妥結済
夏冬年間要求	北陸葬祭	2.5ヶ月	未解決(回答なし)
	天狗中田	(分会)年間5ヶ月 (コスモス)年間分として 前年支給額+一律10万円	未解決(回答なし)
	金沢製粉	年間5ヶ月、女性社員の手当改善	妥結済
	執行官室	年間4ヶ月、定年後再雇用の協定化	妥結済

※ 北国新聞関連労組、金沢市清掃、連合石川スタッフユニオンは別途要求、春闘時に同時決着。



2011年
6月10日
No. 902

全国一般石川地方
労働組合 教宣部
金沢市駅西本町3-13-5
TEL 076 (262) 0724
発行人 久田友恒

一時金要求を 一斉に提出する！

東日本大震災の被災者支援！ 反原発の闘いを強化しよう！

三・一一から三ヶ月、東北地方を襲った大地震・大津波と福島原発事故によって、多くの被災者は今なお先の見えない避難所生活を

強いられています。家が流され、愛する家族を失ったうえ、収束の目途がたらない原発事故による放射能汚染は、土を水をそ

して人々の身体をむしばみ続けているのです。震災を理由にして、多くの労働者が職を失いました。「派遣切り」も横行してい

6.23反戦平和を考える青年女性集会

「今、福島原発で何がおきているのか？」
講師 小林圭二さん(元京大原子炉実験所講師)

6月23日(木) 18時15分～
地場産センター本館2階第1研修室

さよなら志賀原発！集会

「北信越から『BigWave』を起こそう」

7月24日(日) 集会 11～12時
デモ 12～13時
金沢市中央公園(北陸電力ヘデモ行進)

工場閉鎖反対！ 門前工場を再開せよ！

町野・志賀工場でがんばる仲間を支援しよう！

六月五日 門前サンケン支部臨時大会

ます。こうしたなかで、私たち

昨年二月に石川サンケン側が門前工場閉鎖を組合に提案してきた問題は、会社は当初計画の本年三月末閉鎖を組合の闘いによりいつたん断念したものの、団交拒否の不当労働行為を続けるグループを親会社サンケン電気株の強硬な指示により、五月連休明けに突然「経営権」「業務命令」をふりかざして一方的に六月三日工場閉鎖・六日異動を決定し強行したのです。断じて許せません。

は、六月五日に臨時大会を開催し、門前工場再開を求めて闘いを継続する闘争宣言を決議。これからは本場の闘いです。仲間の一層の支援をお願いします！

とサンケン電気の団交拒否回答が送達された後の五月二十三日、五時間に及んだ団交で、会社が初めて「業務命令、従わなければ解雇の可能性」に言及。

五月三十一日の団交は、久田地本執行委員長を先頭に組合執行部全員が乾坤一擲(けんこんいってき)の決意でのぞみ、「通勤バスは免許のない者のみ。退職者は絶対に自己都合」と固執した会社を六時間の難航のすえ説得し、女性組合員



上右/5月19日、団交拒否の不当労働行為を続けるサンケン電気(埼玉)に対する申し入れ・ピラまき行動を実現。地本職場と全国の支援労組あわせ総勢150名が結集。
下左右/6月5日臨時大会の様子



(表面から続き)

希望者全員にマイクロバス通勤を保障、異動できない組合員には会社都合退職金等を確認しました。

しかし、やはり毎日往復二時間の通勤を複雑な交替勤務をしながら続けるのは極めて過酷で、二十九名もの仲間が退職に追い込まれました。私たちは、この会社の組織破壊を絶対に許してはなりません。

地本全体で支えよう

支部の仲間は、六日から町野工場と志賀工場に分かれて勤務し、長距離の通勤と慣れない仕事でクタクタになりながら、各職場に組合掲示板・事務所の設置、夏季一時金交渉を開始しています。

支部の仲間は「あきらめないこと」、「団結すること」、「闘ってかちとるこ

と」を活かそう！ 会社の組織破壊攻撃を許さず、二十九名の仲間の分まで闘い抜き、裁判・県労委闘争をも通じて、労働者に犠牲を強いる会社の責任を必ず明らかにしよう！ 全国の仲間と連帯を強化しよう！

いつの日か必ず門前工場を再開させ門前に戻るために、支部組合員が団結して闘おう！ 地本の仲間は全力で闘争を支援しよう！

東日本大震災・自治労ボランティアに参加して

地本執行委員 吉見康之（北陸冷感）

自治労震災ボランティアに参加した地本の仲間の報告を掲載します。

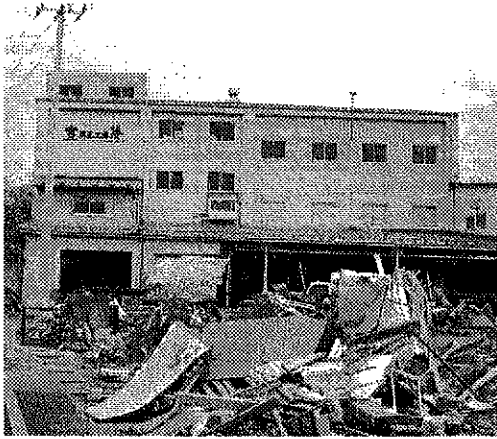
*

三月十一日発生の東日本大震災から二ヶ月たってから、第六グループは岩手支援団として、五月十五〜二十一の一週間、宮古市の支援を行いました。私たち全国一般石川は、宮古市内か

ら北へ車で二十〜二十五分のグリーンピア三陸みやこ（グリーンピアたろう）の付属体育館で作業を行いました。体育館も、自衛隊物資、近くの避難所（アリーナ）の物資、被災者の物資と別れていて、被災者に、米・水・調味料・衣類など生活用品を配る仕事で、被災者の物資の所に配置されました。体育館で働いてい

るスタッフも被災者で、家を流され、仕事も失って、宮古市臨時職員として働いている。（雇用期間は六ヶ月だそうです）

大震災の日、テレビでの光景を見てほんとうに信じられない思いの中で、今回、被災地で何か出来ないか、何にも出来ないけど、参加はした。五月十八日から仮設住宅に引越しが始まります。今後、課題としては、雇用の問題、家の問題（仮設住宅も二年位しか住めない）、現状、前の土地には家は建てられないそうです。被災地・被災者の一日も早い復旧・復興を祈っています。



宮古市内の至る所にがれきの山。「捜索済」と赤く大書してある。大津波の爪跡が生々しい。



市内の「グリーンピアたろう」体育館。ここが、着のみ着のまま非難を余儀なくされた住民の皆さんの生活の場。

